

目 録

雲仙岳災害記念館が島原市に開館 下司 信夫・栗原 新・吉田 大祐・1

特集：地質調査総合センター記念講演会

- 地質調査総合センター記念講演会開催について 金原 啓司・久保 和也・4
中国における地質研究の改革と発展 寿 嘉華・張 洪涛・6
21世紀における地質調査所の役割 ジェームズ F. デイバイン・10
雲仙火山掘削の科学的意義 宇都 浩三・14
雲仙火山科学掘削に対する地元の期待 吉岡庭二郎・20

特集：環境を記録する生物Ⅱ

- 古環境を記録する微小甲殻類-貝形虫- 山田 桂・23
第四紀古海洋指標としての渦鞭毛藻シスト 河村 裕・31
珪藻と放散虫(レディオラリア) 高橋 孝三・37

ぼくら赤道痛蚊チュウッ!“インドネシア白亜紀付加体地質紀行-西カリマンタン編”

..... 脇田 浩二・44

野外調査から隕石研究まで ブライアン・メースン自伝(第6回)

..... ブライアン・メースン, サイモン・ネーサン 著・河内 洋佑 訳・60

知ってますか? あなたの町の地質 -近畿の地質図展-

..... 「近畿の地質図展」開催事務局・66

地質標本館だより No.62 69

お知らせ “タウンフォーラム地熱”開催のご案内 日本地熱学会・71

編集後記 72

表 紙

雲仙岳災害記念館の展望室からみた雲仙岳：正面の最も高い山が平成新山。裾野には1991-95年の火砕流・土石流によって形成されたスロープが広がる。右側手前の険しい山は眉山溶岩ドームで、1792年の噴火時に崩壊し、島原・熊本に大きな被害をもたらした。近景の住宅地・耕作地は、平成噴火の際土石流による壊滅的な被害を受けた安中地区。噴火から10年以上が経過し、復興事業が進んでいる。(写真と文：下司信夫)



産業技術総合研究所
地質調査総合センター

Geological Survey of Japan / AIST

☎305-8567 茨城県つくば市東1-1-1

Tel. 0298-61-3754

Fax. 0298-61-3569

<http://www.gsj.jp/>